

平成23年度（2011年度）

学生募集要項

京都市立芸術大学

大学院 音楽研究科 **博士(後期)課程**

京都市立芸術大学 事務局教務学生課（音楽担当）

〒610-1197京都市西京区大枝沓掛町13-6 TEL075-334-2222

1 募集人員

音楽研究科 博士（後期）課程

標準修業年限 3年

専攻	研究領域	募集人員
音楽	作曲・指揮 器楽 声楽 音楽学	5名

(注) 1 出願は、一つの研究領域に限る。

2 上記募集人員には、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜（若干名）を含む。

2 出願資格

- (1) 修士の学位を得た者及び平成23年3月までに修士の学位を得る見込みの者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると文部科学大臣が認める者
- (4) 修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学大学院において認める者で、平成23年3月31日までに24歳に達する者

注：上記(4)の資格認定を希望する者は、出願資格認定審査等の手続きを要するため、1月14日(金)までに教務学生課へ必ず照会してください。

3 特別選抜（社会人及び外国人留学生）

特別選抜とは、大学院における専門教育の開放と交流を目的とし、一般選抜の学力検査のうち語学試験を免除するもので、前項2の出願資格のいずれかに該当する外国人留学生及び前項2の出願資格のいずれかに加えて下記の一に該当する社会人を対象とする。

- (1) 出願時において各種の企業、研究機関又は教育機関に、正規職員として勤務し、入学後もその身分を有し、所属長から推薦を受けた者
- (2) 出願しようとする研究領域に関連した職種に3年以上の勤務経験を有すると本学大学院が認めた者
- (3) 出願しようとする研究領域に関連した活動を3年以上行っていると本学大学院が認めた者

注：特別選抜による受験を希望する者は、出願資格認定審査等の手続きを要するため1月14日(金) {必着} までに教務学生課へ下記の書類を提出（郵送可）してください。

「提出書類」…A4縦長横書き

履歴書（高等学校卒業以降の学歴及び職歴を記載したもの）

業績書（著書、論文、作品、演奏会出演歴等の業績を記載したもの）

所属長の推薦書…社会人で上記3の(1)に該当する者のみ

日本語能力証明書若しくは日本語教育修了証明書…外国人留学生のみ

（公的機関又は学習した機関による証明書で、学習期間が記載されたもの）

4 出願手続

- (1) 受付期間 平成23年（2011年）1月27日（木）～1月31日（月）
（上記期間の消印有効）
- (2) 出願方法 下記提出書類一式を必ず速達・簡易書留で郵送してください。（直接大学に持参されても受け付けません。）封筒の表に「音楽研究科博士（後期）課程入学願書在中」と朱書きしてください。
- (3) 送り先 〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6
京都市立芸術大学事務局教務学生課
TEL (075) 334-2222

5 出願書類等

- (1) 入学願書（本要項に綴じ込みのものを使用する。）
記入する氏名は戸籍名と同一のこと。外国籍の場合は、登録原票記載事項証明書に記載されている氏名と同一のこと。その他の提出書類についても同様とします。
*この入学願書に記載された個人情報は受験手続のために使用し、それ以外の目的には利用しません。
- (2) A 作曲・指揮領域
- ア 修士論文（修士論文を書いていない志願者はそれに代わる論文）
*いずれの場合も日本語（8,000字以上）若しくは英語（3,000語以上）の論文とする。
それら以外の言語による論文の場合は、日本語（4,000字以上）若しくは英語（1,500語以上）の全訳又は要約を添付すること。
*その他に参考資料（論文等）がある場合は同時に提出してください。
- イ 博士論文に関する研究計画書
*日本語（2,000字以上）若しくは英語（800語以上）によるものとする。
*A4縦長横書きで表紙に氏名と研究領域を明記すること。
- ウ 作曲・指揮に関する研究計画書
*日本語（800字以上）若しくは英語（300語以上）によるものとする。
*A4縦長横書きで表紙に氏名と研究領域を明記すること。
- B 器楽・声楽領域
- ア 実技及び博士論文に関する研究計画書
*日本語若しくは英語によるものとする（字数制限なし）。
*A4縦長横書きで表紙に氏名と研究領域を明記すること。
*論文（修士論文を含む）等がある場合は、同時に提出してください
- C 音楽学領域
- ア 修士論文（修士論文を書いていない志願者はそれに代わる論文）
*いずれの場合も日本語（8,000字以上）若しくは英語（3,000語以上）の論文とする。
それら以外の言語による論文の場合は、日本語（4,000字以上）若しくは英語（1,500語以上）の全訳又は要約を添付すること。
*その他に参考資料（論文等）がある場合は同時に提出してください。
- イ 博士論文に関する研究計画書
*日本語（2,000字以上）若しくは英語（800語以上）によるものとする。

* A4縦長横書きで表紙に氏名と研究領域を明記すること。

(3) 修士課程（又は博士前期課程）修了（又は修了見込）証明書

(4) 写真

出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのもの2枚（4cm×3cm）を受験者写真票及び受験票に貼付してください。

(5) 入学審査料 17,000円

ア 綴じ込みの「払込取扱票」により、郵便局窓口（ATMからの払い込みは不可）へ払い込んでください。（手数料要）

イ 払い込みと同時に郵便局から交付される「振替払込受付証明書」を同封してください。

ウ 願書提出後、審査料は一切返還しません。

(6) 受験票送付用封筒

本要項に綴じ込みの封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し、650円切手（簡易書留・速達）を貼付してください。

注：本学修士課程修了者及び修了見込者は、上記(3)を提出する必要はありません。

6 受験票

提出書類を完備し、上記の出願手続きを行った者には、本学から受験票を送付します。

受験票が平成23年2月17日(木)までに到着しない場合は、事務局教務学生課まで電話で問い合わせてください。

7 試験場所 京都市西京区大枝沓掛町13-6 京都市立芸術大学

8 選抜試験内容及び試験日程等

(1) 選抜方法

入学者の選抜は、語学試験、口述試験（提出論文等並びに研究計画書に基づく。）、実技試験（音楽学領域を除く。）を総合して行います。

ただし、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜志願者については、語学試験を行いません。

(2) 試験内容

A 作曲・指揮領域

・作曲

ア 語学試験：英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語の4か国語から1か国語を選択すること。（辞書持ち込み可。ただし電子辞書の場合は、通信機能の無いものに限る。）

イ 口述試験：提出論文等及び研究計画書に関する口頭試問

ウ 実技試験：出願時に主要作品を提出すること。その際に提出作品の録音テープ等を添えてもよい。

提出する作品の数は限定しない。

修士作品を提出してもよい。

（提出作品、テープ等は返却しないので、それぞれコピーを提出すること。）

提出された作品に対する口頭試問を行う。

・指揮

- ア 語学試験：英語，ドイツ語，フランス語，イタリア語の4か国語から1か国語を選択すること。（辞書持ち込み可。ただし電子辞書の場合は，通信機能の無いものに限る。）
- イ 口述試験：提出論文等及び研究計画書に関する口頭試問
- ウ 実技試験：バロック，古典派，ロマン派，近代，現代（1945年以降に作曲された作品で，楽譜が出版されたもの）のそれぞれを含む8曲以上のレパートリーの一覧表を出願時に提出し，そのうち当日指定された2曲を指揮すること。（演奏は本学で準備するピアノによるものとする。）
また，レパートリー一覧表について口頭試問を行う。

B 器楽領域

- ア 語学試験：英語，ドイツ語，フランス語，イタリア語の4か国語から1か国語を選択すること。（辞書持ち込み可。ただし電子辞書の場合は，通信機能の無いものに限る。）
- イ 口述試験：研究計画書等に関する口頭試問
- ウ 実技試験
 - ・ピアノ：バロック，古典派，ロマン派，近代，現代（1945年以降に作曲された作品で，楽譜が出版されたもの），エチュード（高度な技術を要するもの）のそれぞれを含む1時間程度のプログラムによるリサイタルを準備すること。
プログラムは出願時に提出のこと。
*都合によりプログラムの一部を省略させることがあります。
 - ・弦楽：1時間程度の自由構成プログラムによるリサイタルを準備すること。
ただし，ヴァイオリン又はチェロによる演奏であること。
プログラムは出願時に提出のこと。伴奏が必要な場合はピアノによるものとし，ピアニストを同伴のこと。
*都合によりプログラムの一部を省略させることがあります。
 - ・管・打楽：1時間程度の自由構成プログラムによるリサイタルを準備すること。
ただし，打楽器については任意の鍵盤打楽器のために編曲されたJ. S. Bachの作品を含むこと。
プログラムは出願時に提出のこと。伴奏が必要な場合はピアノによるものとし，ピアニストを同伴のこと。
*都合によりプログラムの一部を省略させることがあります。

C 声楽領域

- ア 語学試験：英語，ドイツ語，フランス語，イタリア語の4か国語から1か国語を選択すること。（辞書持ち込み可。ただし電子辞書の場合は，通信機能の無いものに限る。）
- イ 口述試験：研究計画書等に関する口頭試問
- ウ 実技試験：1時間程度の自由構成プログラムによるリサイタルを準備すること。
ただし2か国語以上の原語による演奏であること。

プログラムは出願時に提出し、伴奏者は同伴のこと。

*都合によりプログラムの一部を省略させることがあります。

D 音楽学領域

ア 語学試験：英語，ドイツ語，フランス語，イタリア語の4か国語から1か国語を選択すること。(辞書持ち込み可。ただし電子辞書の場合は，通信機能の無いものに限る。)

イ 口述試験：提出論文等及び研究計画書に関する口頭試問

【参考】過去3年間の語学の試験問題は，月曜日から金曜日（祝日を除く）の午前9時から学生午後5時までの間に限り，事務局教務学生課で閲覧することができます。なお電話・文書等による照会には一切応じません。

(3) 試験日程

日 時	内 容
3月1日(火) 10:00~11:30	語学試験（辞書持ち込み可。ただし電子辞書の場合は，通信機能の無いものに限る。）
午後	口述試験（音楽学領域）
3月2日(水) 10:00~	実技試験（音楽学領域以外）
実技試験終了後	口述試験（音楽学領域以外）

*時間等の詳細については，受験票といっしょに入試実施要項を送付します。

9 合格発表

平成23年（2011年）3月4日(金)午後1時本学内に掲示し，合格者には文書で通知します。電話等による問い合わせには，一切応じません。

10 入学手続

合格者は，次のとおり入学手続きを行ってください。詳細は，合格通知書と共に送付します。

- | | |
|------------|----------------------------------|
| (1) 入学手続期間 | 平成23年（2011年）3月下旬 |
| (2) 場 所 | 京都市立芸術大学事務局教務学生課 |
| (3) 入学料の納付 | 市内出身者 282,000円
市外出身者 482,000円 |

注：市内出身者とは，入学前年の4月1日以前から引き続き京都市内に居住し，住民票の写し又は登録原票記載事項証明書により証明される者

- (4) 誓約書の提出（正・副保証人）

【参考】授業料 年額 535,800円（前，後期に分割納入することができます。）

(注) 上記の入学料及び授業料は平成22年度入学者の場合であり，改定があった場合は合格者に通知します。

音楽研究科博士（後期）課程の概要

本学音楽学部は、昭和27年に全国初の公立音楽大学として設置された京都市立音楽短期大学をその前身としている。その後、昭和44年に4年制大学へ昇格し、京都市立美術大学美術学部と統合して、京都市立芸術大学音楽学部と改称した。さらに、昭和61年には、大学院音楽研究科修士課程を設置した。開学以来50年、「芸術家の教育を行うことに徹する」という精神は連綿として受け継がれ、日本の第一線のみならず国際的に活躍の場を得ている優れた作曲家や演奏家等を輩出するなど、一定の成果をあげてきている。

そして21世紀を迎え、新しい時代の中で本学をどのように充実発展させていくかについて検討し、将来展望をまとめた結果、修士課程での研究成果を深め、集大成するとともに、新たな展開を志向する、より高度な研究を行う上部の課程として平成15年に音楽研究科博士（後期）課程を設置した。

(1) 専門的研究が出会い、深化する場としての博士（後期）課程

学部における基礎教育並びに大学院修士課程等において積み重ねてきた専門的技能及び専門的学識の研鑽を踏まえた能力の持ち主が、広領域的アプローチを視野に入れて多様な展開を図りつつ、自己の専門領域の方法理論を深化させる課程として位置づけるものである。そのため、専門研究を担う「作曲・指揮」「器楽」「声楽」「音楽学」の4領域を音楽専攻として単一組織にまとめている。

(2) 地域が要請する博士（後期）課程

本学は開学以来、半世紀にわたって、京都のみならず、関西、西日本地区の音楽教育の中心的拠点として機能してきた。現在、京都及び関西地区には10校を超える音楽系大学があるが、現在、わが国の芸術系大学において理論・実技系両方の博士（後期）課程を設置しているのは、東京芸術大学やエリザベト音楽大学他、数校のみである。公立大学として、本学に課せられた役割からしても、本学の修了生のみならず、他大学の修了生にも高度な研究の場を提供する。

(3) 国際的な音楽教育・研究の場としての博士（後期）課程

本学はドイツのブレーメン芸術大学及びフライブルク音楽大学と国際交流協定を結んでいるほか、2000年6月に本学オーケストラ・合唱団がチェコのプラハ訪問に際しプラハ音楽アカデミーとも交流を深めた。さらに、2002年9月にはドイツに弦楽オーケストラを派遣し、各地で演奏を行った。博士（後期）課程は最高水準での音楽研究のための国際交流の場を提供する。こうした目的のため、博士（後期）課程の定員内で外国人留学生に対する特別選抜を実施し、受入れに対する配慮を行う。

(4) 社会人の再教育の場としての博士（後期）課程

すでに社会人として演奏活動や研究活動に活躍している専門家に、先端的な研究成果や情報を提供し、あるいは生涯的課題である芸術的研鑽の場を提供し、社会人の再教育の場としての役割を博士（後期）課程が担う。そのための門戸開放として、博士（後期）課程の定員内で社会人を

受け入れる配慮を行う。そのための特別選抜を実施することによって、音楽学部や音楽研究科修士課程を卒業・修了後、海外に留学し、豊かな経験を積んだ優秀な人材の受入れも歓迎する。

音楽研究科 音楽専攻 博士（後期）課程 履修課程表

履修区分	授業科目	履修年次			履修単位数			
		1年次	2年次	3年次	小計	中計	合計	
必修科目	研究領域研究指導					4	12	
	特別総合演習	1	1		2			
	音楽学演習	1	1		2			
選択必修科目	領域研究	作曲・指揮研究	2	2	2	2		8
		器楽研究	2	2	2	2		8
		声楽研究	2	2	2	2		8
		音楽学研究	2	2	2	2	8	

《博士（後期）課程における履修方法及び修了要件》

必修科目のうち、特別総合演習及び音楽学演習2科目計4単位、選択科目から各領域研究8単位以上を修得し、研究領域研究指導により博士論文（ただし、研究領域により、副資料として研究作品又は研究演奏を付加する。）を作成・提出して、審査及び最終試験に合格すること。

《取得学位》

音楽学領域…博士（音楽学） Doctor of Philosophy in Musicology (Ph.D.)

その他領域…博士（音楽） Doctor of Musical Arts (D.M.A.)

講義等の内容

(1) 研究領域研究指導…全研究領域対象

博士論文作成のための指導，並びに博士学位審査のための研究作品制作又は研究演奏の指導。ただし，音楽学研究領域においては，博士論文作成のみとすることができる。

(2) 特別総合演習…全研究領域対象

各研究領域における理論的研究を専門的に深化させるとともに，個々の研究領域の専門性を超えて，より広範かつ総合的な視点から研究の展開をはかる。そのために，他研究領域の教員や学生との共同討議を通して，専門領域以外の知見や理論的特質を探求し，それらを専門領域の研究に反映させる。

(3) 音楽学演習…全研究領域対象

音楽の理論的・実践的研究の基礎となる音楽美学・音楽史学・音楽社会学・音楽心理学・音響心理学・民族音楽学についての考察を深め，専門領域の研究への応用をはかるとともに，博士論文のテーマ決定に資する。

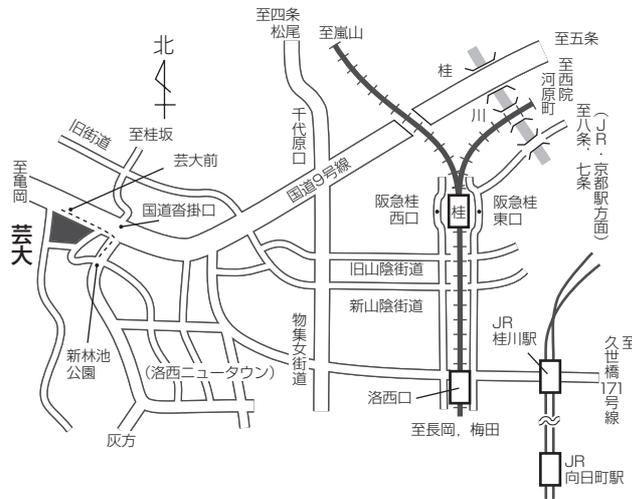
(4) 領域研究

研究領域・担当教員	研究指導内容
作曲・指揮研究 前田 守一 教授 中村 典子 講師 増井 信貴 教授 ()	作曲作品の実作又は指揮の実技と理論の研究を通して，高度な作曲技法又は指揮法の修得を目標とする。そのために，作曲と指揮の密接な関係に鑑みて，双方向からの実践的・理論的研究を行うとともに，それらを取りまく歴史的，社会的，文化的状況についても理解を深めるとともに，新たな音楽の創造をはかる。 作曲の作品制作及び理論の指導 作曲の作品制作及び理論の指導 指揮法及びレパートリー形成の指導 (新任教員) 平成23年4月 着任予定
器 楽 研 究 阿部 裕之 教授 坂井 千春 准教授 上野 真 准教授 野原みどり 准教授 ()	器楽演奏の実技と理論の研究を通して，高度な器楽演奏の修得を目標とする。そのため，演奏作品及び演奏法に関する実践的・理論的研究を行うとともに，それらを取りまく歴史的，社会的，文化的状況についても理解を深め，新たな器楽演奏の創造をはかる。 ピアノ演奏法一般並びに近代フランス音楽を中心とするピアノ作品解釈の指導 ピアノ演奏法一般並びにピアノ作品解釈とレパートリー形成の指導 ピアノ演奏法一般並びに近現代ピアノ作品を含む解釈の指導 ピアノ演奏における作品解釈とレパートリー形成並びに機能的な奏法の指導 (新任教員) 平成23年4月 着任予定

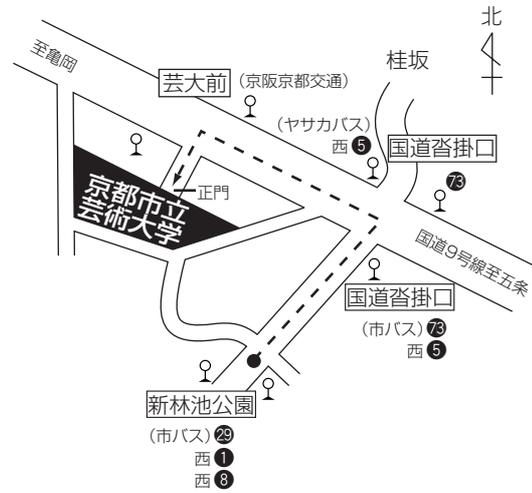
研究領域・担当教員	研究指導内容
上村 昇 教授 四方 恭子 准教授 豊嶋 泰嗣 准教授 呉 信一 教授 大嶋 義実 教授 山本 毅 教授	チェロ演奏法一般，弦楽作品解釈及び室内楽一般の指導 ヴァイオリン演奏法一般，弦楽作品解釈及び室内楽一般の指導 ヴァイオリン演奏法一般，弦楽作品解釈及び室内楽一般の指導 金管楽器（トロンボーン）演奏法並びに管打楽作品解釈とレパートリー形成の指導（注） 木管楽器（フルート）演奏法並びに管打楽作品理論研究，バロックからロマン派に至る管打楽作品解釈の指導（注） 打楽器演奏法一般並びに近代・現代の管打楽作品解釈の指導
声楽研究 折江 忠道 准教授 （ ） （ ）	声楽演奏の実技と理論の研究を通して，高度な声楽演奏の修得を目標とする。そのため，演奏作品及び演奏法に関する実践的・理論的研究を行うとともに，それらを取りまく歴史的，社会的，文化的状況についても理解を深め，新たな声楽演奏の創造をはかる。 声楽演奏一般並びに声楽楽曲解釈とレパートリー形成の指導 平成23年4月 着任予定 平成23年4月 着任予定
音楽学研究 龍村あや子 教授 山田 陽一 教授 柿沼 敏江 教授 津崎 実 准教授	音楽学諸分野の先端的研究の指導を通して，高度な音楽学研究方法論の修得を目標とする。そのため，音楽美学・音楽史学・音楽社会学・音楽心理学・音響心理学・民族音楽学に関する理論的研究を行うとともに，学際的・分野横断的研究を積極的に推進し，新たな音楽学研究の創造をはかる。 音楽美学・音楽社会学・西洋音楽史・比較音楽文化・ポピュラー音楽論の分野における高度な専門的知識を提供するとともに，個々の学生の関心に即した研究方法の指導 民族音楽学・音響人類学・ポピュラー音楽論の観点から，世界諸民族の音楽の社会的・文化的意味の考察及び音楽民族誌記述の手法に関する研究の指導 西洋音楽史・現代音楽論・サウンドアート論及びその関連領域について，現代的・分野横断的の観点に基づく音楽の表現・媒体の研究手法に関する指導 音楽心理学・音響心理学・音響環境論・感性情報処理の観点から，高度な専門的知識や実験計画法・統計分析法などの研究方法論の指導

(注) トロンボーン，フルート以外の管楽器で受験を希望する場合は，出願前に必ず事務局教務学生課に問い合わせてください。

◆試験場への略図



◆芸大周辺略図



◆試験場への交通機関

〈最寄バス停〉

京阪京都交通	芸大前	下車すぐ
市バス	新林池公園	本学正門まで徒歩約20分
	国道沓掛口	〃 10分
ヤサカバス	国道沓掛口	〃 10分

〈主要ターミナルからの交通機関 (バス)〉

平成22年11月1日現在

	所要時間	
京阪京都交通	阪急桂駅東口 から 約20分 1・2・13 (13Bは除く)・14・25・28系統	芸大前 下車
	JR 京都駅 から 約45分 2・14・28系統 (烏丸中央口C2のりば)	
	JR 桂川駅 から 約15分 11A系統 (平日は8:00~16:00, 土日は8:00~15:00の間, 1時間に1便運行されます。)	
市バス	所要時間 阪急桂駅西口 から 約20分 西1・西5・西8系統 (昼間時間帯(10~16時)は西1系統の代わりに西8系統が運行されます。)	新林池公園 下車 西5・73系統 国道沓掛口 下車
	JR 京都駅 から 約45分 73系統 (烏丸中央口C5のりば)	
	四条烏丸 から 約50分 29系統	
ヤサカバス	所要時間 阪急洛西口駅 から 約15分 } JR 桂川駅 から 約17分 } 桂坂中央ゆき①系統 JR 向日町駅 から 約20分 }	国道沓掛口 下車

- (注) 1. 交通機関の利用については、路線並びにダイヤの変更、周辺の交通事情等を把握し、試験当日、指定の時刻に遅れることのないよう注意してください。
2. バスは京阪京都交通の利用が比較的便利です。

平成23年度京都市立芸術大学大学院
音楽研究科 博士（後期）課程入学願書

受験番号

出願の種類 (○で囲む。)	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
志望研究領域 (○で囲む。)	作曲・指揮 (作曲 指揮) 器 楽 (楽器:) 声 楽 (声種:) 音 楽 学 (研究分野: 音楽心理学・音響心理学・音響環境論・ 感性情報処理・音楽美学・音楽社会学・西洋音楽史・ 比較音楽文化・ポピュラー音楽論・民族音楽学・ 音響人類学・現代音楽論・サウンドアート論)		
氏名	フリガナ	男・女	生年
			年 月 日
現住所	〒 ()	自宅	TEL () -
		携帯	TEL - -
		緊急連絡先	TEL () -
国籍 (外国人留学生特別選抜志願者のみ)			
語学受験科目 (一般選抜志願者のみ)	英語	ドイツ語	フランス語
		イタリア語	から1カ国語を○で囲む。
見本			
(裏面につづく)			

履歴書・業績書

(書ききれない場合は、別紙〈A4縦長横書き〉に記入)

年 月 日

(学歴) 高等学校卒業から記入のこと

見本

(職歴)

見

(主な業績)

本

見

本

平成23年度

受験者写真票

京都市立芸術大学大学院音楽研究科
博士(後期)課程 音楽専攻

受験番号

志望研究領域

フリガナ

氏名

19

年

月

日生

男・女

林 夏

林 夏

写真貼付欄



平成23年度

受験票

京都市立芸術大学大学院音楽研究科
博士(後期)課程 音楽専攻

受験番号

志望研究領域

フリガナ

氏名

19

年

月

日生

男・女

林 夏

林 夏

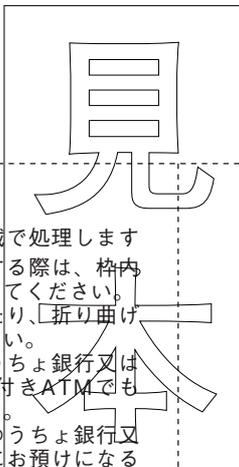
写真貼付欄



(のりしろ)

(注意)

◎この「証明書」を、別紙「払込受付証明書貼付票」の上部に離れないよう確実にのり付けしてください。
(学部受験生のみ)



(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
- ・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

3万円以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

速 達

650円切手

貼 付

簡
易
書
留

受
験
票
在
中

見
本
様

〒610-1197 京都市西京区大枝杳掛町13-6

京 都 市 立 芸 術 大 学
事 務 局 教 務 学 生 課

電話 (075) 334-2220 (美術担当)
(075) 334-2222 (音楽担当)

「様」を「行」に変えないでください。

